

# さぶちゃん レポート

No.002



発行責任者 宮戸さぶろう 住所 156-0043 世田谷区松原 3-42-2-4F 携帯：090-2551-3251 FAX：3323-7222

## —新年のご挨拶—

あけましておめでとうございます。

昨年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。

区議会議員として8ヶ月、地域の皆様の代表として様々な仕事をさせていただきました。また、区議会においては、世田谷区における保健医療福祉の拠点施設「うめとぴあ」に関し、今年4月に開設される世田谷区立保健医療福祉総合プラザ（区複合棟）の具体的取り組みをはじめ京王線連続立体交差事業に伴う駅周辺の街づくりや、近年の自然災害に対する施策、無電柱化の推進、本庁舎整備における地中熱利用導入の費用対効果など様々な質問をさせていただきました。このような機会をいただけたのは地域の皆様のおかげと改めて心より感謝申し上げます。新たな年にむけ、皆様の安心安全な暮らしを最優先とし、「笑顔と挨拶のあふれる街づくり」をモットーに初心を忘ることなく一生懸命、頑張ってまいります。引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



【デザインのポイント】  
レンガ調や透明感のある素材を組み合わせることで、近隣の歴史的な建築物や玉川上水の流れを感じさせるデザインとしました。



【デザインのポイント】  
透明感のある素材をリズミカルに組み合わせることで、街の趣やかさと移り変わりが間近に感じられるデザインとしました。



【デザインのポイント】  
木質調等自然と調和する質感や柔らかな配色により、静かな住宅街と共に存するデザインとしました。



【デザインのポイント】  
落ち着いた色合いと透明感のある素材を組み合わせることにより、地元のシンボルである桜並木が映えるデザインとしました。

「明日の下高井戸を考えるワークショップ  
**明日のしもたか**

参加者募集中！

下高井戸らしい駅舎のデザインって…

下高井戸のここが良いところ

高齢者や子ども達の安全も大切だね

防災や防犯対策も考えないとね

駅のまわりはどんな風になると楽しいかな

第1回 まちあさきワークショップ  
10月6日(日)  
13:30～16:00

第2回 下高井戸の明日を豊かに描く!  
12月8日(日)  
13:30～16:00

申し込み方法は裏面下段にあります。

京王線下高井戸駅の高架化によって、まちが大きく変わろうとしています。これから下高井戸の将来像について、地域の皆さんと一緒に考えるため、街づくり協議会主催のワークショップを開催します。ママをもってまちを歩き、下高井戸の魅力や課題、将来像について意見交換します。

# 第3回・第4回定例会



## ○梅ヶ丘拠点整備事業 民間棟・区複合棟での事業

質問：梅ヶ丘拠点整備事業の実績と今後の取組みを問う。

答弁：■民間施設棟

(令和元年4月1日完成)

世田谷区

梅ヶ丘拠点整備ニュース第9号



	定員	利用者	区民利用者数
介護老人保健施設	100名	60名	50名(83%)
高齢者通所リハビリ	80名	196名(登録者)	190名(97%)
障害者入所施設	60名	53名	52名(98%) (9月1日現在)

■区複合棟（令和2年4月オープン）

階層	機能
5階	機械室等
4階	世田谷区医師協会 世田谷区医師協会立看護高等専門学校
3階	保健センター
2階	区民活動支援会議室
1階	福祉人材育成・研修センター、認知症在宅生活サポートセンター、初期救急診療所、薬局、カフェ、区民活動支援会議室
地下	駐車場、備蓄倉庫、機械室等

区立保健センター（健康診断など）

認知症在宅サポートセンター

初期救急診療所・薬局  
(休日夜間の診療・調剤を行います)

福祉人材育成・研修センター

\*新たなホームページ、定期的なニュースの発行、区のお知らせなどで区民に周知する。

## ○地中熱発電の費用対効果

質問：拠点に地中熱利用施設が導入されるが、費用対効果を十分検討したのか。

答弁：梅ヶ丘では初期費用として約6,700万円かかる。新庁舎でも導入を予定しているが、費用対効果を踏まえ検討する。

この指摘を踏まえ、新庁舎への導入は見送られました！！

# 決算特別委員会での質問



## ○災害対策

質問：区民の生命、財産、暮らしを守る災害対策に全力をあげよ。

- ①初動態勢が重要だ。台風19号への区の対応を問う。
  - ②災害に対する事前準備の方法などを区民に周知せよ。
  - ③災害対策本部としての新庁舎の防災機能はどうなっているか。

答弁:①・対応は、参集した311名の職員が行った。

- ・避難所は 27 力所に設置した。5,000 人を超える避難者があり、満杯になった避難所では別の避難所を案内した事態があった。

再質問に対して、区長から答弁があった。

- ・『避難者の数に対し、対応した職員の数がギリギリだった』とし、『職員の態勢や避難所の運営に課題があった』ことを認め、『見直しを行う』と答弁しました。

② 洪水ハザードマップや東京マイ・タイムラインを活用し、防災塾や地区の訓練などを通じて区民に周知する。

# 世田谷区 洪水ハザードマップ (多摩川版・全区版)

## 世田谷区洪水ハザードマップについて

世田谷区では、住民の皆さんに水害に対する備蓄を奨め、備蓄の実現を図るために水害を目的に、淮水の予測される区域と淮水の程度、避難所等の情報を記した世田谷区洪水ハザードマップ(多摩川版・全区版)を作成しています。

水害などの自然災害に対する備蓄は、日常生活の備えとしても重要なです。洪水ハザードマップをご用意いたしましたとさき、備蓄して自家用の防災地図や避難所の位置を確認し、家庭で避難訓練の実施を図ってみてくださいなど、日常生活の備えをお願いいたします。

洪水ハザードマップは、想定した降水量に基づいたシミュレーションの結果であり、あくまで備蓄の参考としてご利用ください。

限りの住宅における洪水の被害を最小限に止めるため、世田谷区令和元年9月までの、ご承認おきください。

世田谷区 危機管理室 災害対策課

TEL. 03-5432-2262

## 多摩川版について

多摩川版は、東日本大震災後多摩川流域が被災をさせた時に公表した「多摩川流域洪水予測区域図(避難地帯と堤防)」(都構計画課)を基に、多摩川流域の日降水量58mmの暴雨による淮水の発生した場合の淮水区域と淮水の程度、淮水による影響等の情報が記載されたものです。

## 全区版について

全区版は、東京都と横浜市が共同で実施する「都構計画課による多摩川流域の河川改修計画」(都構計画課)を基に、多摩川流域の日降水量58mmの暴雨による淮水予測区域図(避難地帯と堤防)および「堤防・河川・倒木・河川及び川内水路の淮水予測区域図(堤防・河川)」(都構計画課)をもとに、多摩川流域内における淮水予測区域と淮水の程度、避難所を示したもので、

※淮水の場所が可能である多摩川版、決壊の可能性が高い少ない多摩川以外の川には、異なる淮水予測区域図が作成されています。

そのため、世田谷区では、多摩川版と全区版(多摩川流域内に区内小河川流域等を対象)にて淮水予測マップを作成します。

世田谷区 危機管理室 災害対策課

TEL. 03-5432-2262



東京都マイ・タイムライン  
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/>

凡 例	
設置場所	立交橋等支承柱下
組合方式	● 一般 ● 交番 ○ 消防署 × 出張所
出張所づくりセンター	●
区会議室センター	●
地区会議室	○ 公共施設
地区会議室	△ 田 畑 町 界
河 川	都 市 区 界
△の辺り2.0m以上	○
△の辺り1.0~2.0m	○
△の辺り0.5~1.0m	○
	丁 目 界

世田谷区洪水ハザードマップ  
配布は区役所、総合支所、まちづくりセンターなど

質問：区民の生命、財産、暮らしを守る災害対策に全力をあげよ。

③災害対策本部としての新庁舎の防災機能はどうなっているか。

答弁：③新庁舎の防災機能は、次のとおり。

通信：世田谷区専用回線無線・商用回線の配備、衛星携帯電話の配備

発電：東棟、西棟ともに通常時の6割程度の電力を確保

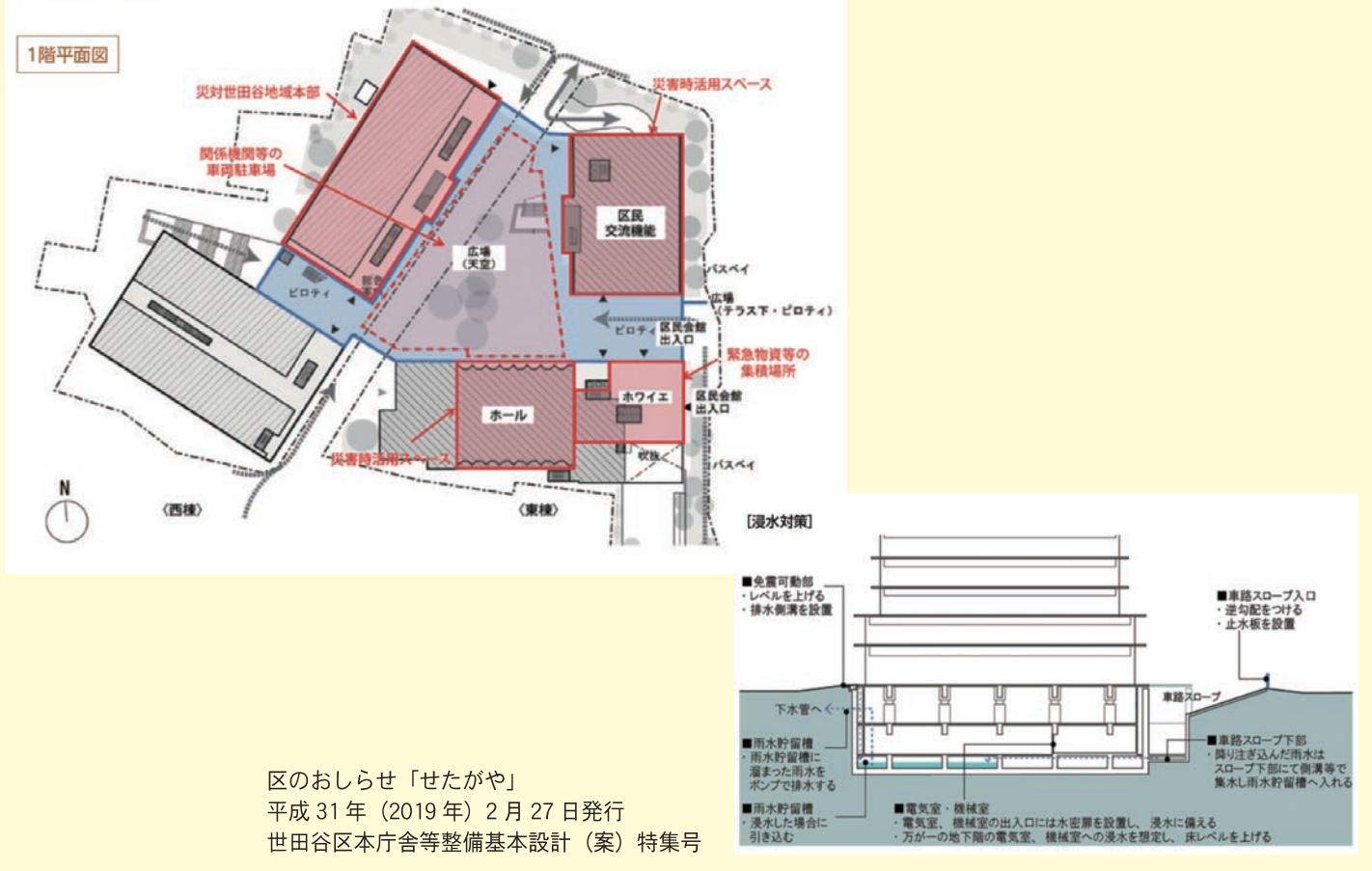
執務室のすべてのコンセントが使用可能

## 液体燃料の備蓄で7日間稼働

飲料水：現状の地下水利用システム（職員や近隣住民用）を同様に活用：参考職員の1日分の飲

料水を確保

### [災害時の庁舎利用]



# △ミニ集会△

私からは日頃の活動、区議会での情報などの報告。地域の皆様の区に対するお困りごとやご要望、ご不満等々をお伺いさせていただきます。是非ともミニ集会にご参加ください。どの会場にもご参加いただけます。お気軽にお出かけくださいませ。

- ★3月1日(日) 19:00～ 明大前、近江家(川久保さんのお店)
  - ★3月3日(火) 16:00～ 北沢5丁目会館
  - ★3月4日(水) 20:00～ 経堂すずらん会館
  - ★3月6日(金) 19:00～ 桜上水 密蔵院
  - ★3月9日(月) 20:00～ 松原5・6丁目自治会館
  - ★3月10日(火) 19:00～ 赤堤 六所神社2階
  - ★3月11日(水) 19:30～ 松原1丁目会館
  - ★3月12日(木) 19:00～ 松原3・4丁目自治会館
  - ★3月13日(金) 20:00～ 下高井戸商店街事務所2階